

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット
ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元株式数 100株

公告方法 電子公告の方法により行います。
(当社ホームページURL <http://www.manac-inc.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合、
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部



<http://www.manac-inc.co.jp/>

UD
FONT 見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



第75期のご報告 株主通信

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



マナックは、化学をベースに、技術と知識の融合により
先端技術産業が求める機能を開発・提供する

未来志向型モノづくり企業を目指します。

証券コード: 4364

ごあいさつ



代表取締役社長
村田 耕也

企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに
社会の進化・発展に貢献する』
～進化する技術、そして進化する人間をめざして

経営理念

- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会から注目される会社をめざし、常に『革新』

第75期の株主通信をお届けするにあたり、株主様をはじめとする関係者の皆様の日ごろのご支援とご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々およびご家族の皆様にご心配をおかけし、心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止に向けて最前線で日々奮闘されている医療関係者の方々をはじめとした皆様からの感謝の意を表します。

マナックは、このような状況の中で少しでも感染拡大防止にお役立ていただくために、地元広島県福山市をはじめとした地域の自治体や医療機関、教育機関に当社製造の抗菌剤「Etak®セーフティコート®」を寄贈させていただきました。今後も増産体制を整え、より多くのところに製品供給ができるよう、努めてまいります。

また、中期計画「Challenge for Change ～変革への挑戦～」にも掲げております、今後の更なる成長に向けた“変革”への取り組みに引き続き挑戦していき、製品をもって地域社会に貢献してまいります。

当社グループは、皆様の生活に寄り添った製品開発や取り組みを行っていきと同時に、皆様に、より当社グループのことを知っていただくための情報発信をしていく所存でございます。

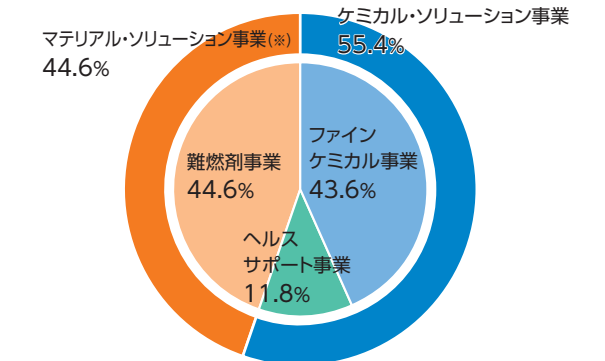
株主の皆様におかれましては、変革に挑戦する当社グループに今後一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年3月期において、当社グループは、国内外の新規市場開拓、既存顧客への更なる取引深耕、中国をはじめとした海外における取引顧客数の拡大にグループが一体となり、積極的に取り組んだ結果、売上高及び利益ともに前期比で増加いたしました。

この結果、売上高は9,386百万円(前期比+270百万円)、営業利益は522百万円(同+205百万円)、経常利益は630百万円(同+234百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は403百万円(同+190百万円)となりました。

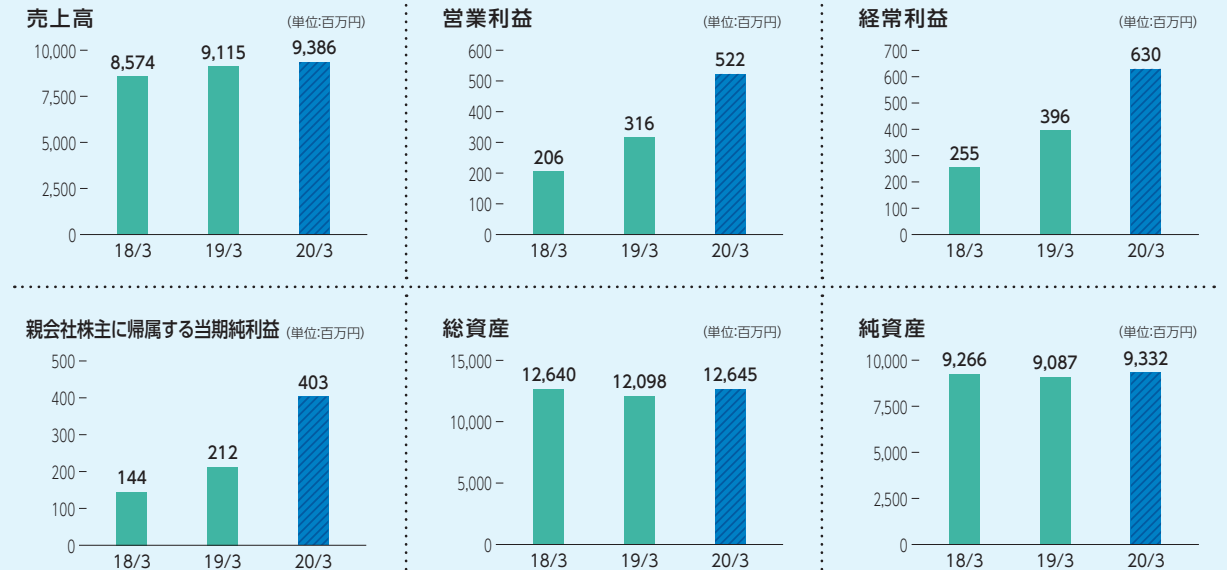
セグメント別では、ファインケミカル事業の売上高は、4,093百万円(前期比△178百万円)、難燃剤事業の売上高は4,186百万円(同+412百万円)、ヘルスサポート事業の売上高は1,106百万円(同+37百万円)となりました。

●セグメント別／事業部別売上比率



(※)2020年4月より「臭素・難燃ソリューション事業」から事業名称変更

連結財務ハイライト



安定経営から成長路線への変革

積極的な生産増強投資と働き手のモチベーションを高める人的投資、そして社会貢献に結び付く研究開発により、確実な成長を遂げる。

対外的に初公表した3か年の中期計画のもと、確かな足取りで成長の道をたどるマナック。2020年3月期の業績総括と今後の展望、世界に向けて果たしていく役割についてお伝えします。



2020年3月期の概況についてお聞かせください。

中期計画の1年目である当期の売上高は当初計画していた売上高よりも少し下回りました。しかし、連結経常利益は数値目標の4.8億円を大きく上回る6.3億円となり、2年連続の増益を達成することができました。プラス要因としては、前期の設備投資の結果、工場を一部スマート化したことなどが奏功して生産部門が順調にコストダウンできたこと、来

期に工場の増設投資を予定しており、その期間製造がストップすることを見越して今期の稼働率を上げたことがあげられます。また、医薬分野の製品や電子材料分野の有機EL材料といった高付加価値商品の販売が伸びたことも好材料となりました。

一方、マイナス要因としては、新型コロナウイルス感染拡大により2020年1～3月に中国市場へ輸出を予定していた難燃剤の出荷がキャンセルとなったこと、大型

商品の原料がほぼ1年間にわたって中国から輸入できなかったことなどがあげられますが、現時点ではあまり大きな打撃は受けていません。

3つの事業の業績を詳しくお教えください。

ファインケミカル事業では、前期比約1.7億円の売上高減少となりました。電子材料分野の売上高は若干下がっていますが、代わりに医薬分野、中でもがん関連の医薬品原料と婦人科領域の治験薬中間体という2品目が利益に大きく貢献しました。前者は既に製品化され、今後も確実に販売量が増える見込みです。後者は医薬品開発の臨床試験(治験)段階を迎えており、上市されれば22/3期にも大きく伸びていくでしょう。

難燃剤事業では、前期と比較して約4億円の売上高増加となりました。主力のTBP(トリプロモフェノール)やPP樹脂用難燃剤の販売が順調に伸びた結果です。

ヘルスサポート事業は約0.3億円の売上高増加となりました。こちらの主力製品は人工透析用薬剤の原料で、常に安定的な需要があります。これに加えて、当社が広島大学大学院の二川浩樹教授と共同開発した固定化抗菌・抗ウイルス剤「Etak®(イータック)」が新型コロナウイルス関連で一躍脚光を浴び、引き合いが大きく増えています。来期は全国展開も視野に入れて増産体制を整えており、将来的には世界市場での展開も目指しています。

当社製品の「Etak®セーフティーコート®」にはアルコール消毒と同時に抗菌・抗ウイルス剤をコーティングできる特徴があり、ドアの取っ手や手すりなど、手で触れる頻度の高い箇所やマスクなどに塗布してお使いいただけます。消毒用エタノールや次亜塩素酸ソーダなどとは異なり、乾燥後も抗菌・抗ウイルス効果が得られ、1週間程度持続するという利点があります。この製品を公共施設における感染症拡大防止や医療崩壊の回避に少しでもお役立ていただければと、当社から400Lを地元である福山市民病院や福

山市役所に寄贈してご活用いただいています。

中期計画の進捗についてお聞かせください。

2019年5月、10年先を見据えた3か年の中期計画を初めて社外に公表しました。1年目を終えた現在、明確に「成長」をうたうことで計画を着実に実行に移し、株主様を始め各ステークホルダーに還元していくという意識が社内に浸透しつつあります。

成長の基盤を固めるための重点施策の一つである「ICT/IoT化の加速」については、前述した工場の一部スマート化や基幹システムの更新に取り組みました。また、同じく「人材への投資」については、工場の休日数増加に際して、生産の都合で休日を増やしづらい従業員に対して、交替勤務手当を増やしたほか、継続再雇用者の処遇改善によりモチベーションアップを促しました。また、女性社員も活躍しやすい職場環境を目指し、出産・育児休暇の取得はもちろん、新型コロナウイルスの影響で学校が休業となり休暇を取らざるを得ないケースなどにおいても会社全体でサポートしています。さらに、新型コロナウイルス関係でいいますと、感染拡大を未然に防止するため、東京・大阪地



モノづくりの体制を着実に整え
需要拡大に応えるとともに、
新領域の研究開発にも
投資していきたい。



区で在宅勤務を導入するなど、各種対策を実施しています。このような働き方の多様性を認める人事制度の改革により、各社員のロイヤルティが高まり、モチベーションや生産性が向上している手ごたえを感じます。

「グローバル展開」は事業を成長させるための重要施策の一つで、中国市場への難燃剤の輸出を中心に、輸出比率は前期に比べると14%から16%に増加、売上高も伸びています。来期は世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を無視することはできませんが、基本的に戦略は変更しません。中国やヨーロッパ諸国の状況を睨みつつ対応していきます。

一方で、中国の環境規制強化を受け、日本国内の化学メーカーが国内品を調達する国内回帰の動きも見られます。BCPの観点から中国品だけでなく国内品も調達する「2社購買」をされる顧客が増えており、かつての顧客から「BCPの面でマナックに」と改めてお声かけいただき、ご発注いただくケースも増えています。

今後の取り組みや
目標についてお聞かせください。

「臭素・難燃ソリューション事業部」は2020年4月に「マテリアル・ソリューション事業部」へと改称しました。これまでは臭素系の難燃剤の製造がメインでしたが、その周辺領域にあたる新規材料の分野に踏み込み、積極的に研究開発に注力していくためです。難燃機能をもつ材料はもちろん、それ以外の新機能を持たせた材料の開発も新事業として目指します。富山県に研究拠点を新たに設けるほか、郷分事業所に研究拠点を併設し、それらの拠点に研究員を派遣したりするなど、新事業への投資を行います。

「ケミカル・ソリューション事業部」では、医薬関連品目の売上を伸ばしていくことを中期計画の基本に盛り込んでおり、前述のがん関連の医薬品原料と婦人科領域の治験薬中間体という2品目の生産能力を増強するため、工場設備を増設する大型投資を来期に行います。この増設工事により来期は設備の稼働率が下がるため、一時的に営業利益率が低下しますが、22/3期には投資効果を得られる見

込みです。もちろん、新規設備においても工場スマート化によるコストダウンを図ります。また、機能性材料分野では5G(第5世代移動通信システム)の本格展開に紐づいて当社のポリイミド樹脂原料の需要が伸びていくでしょう。いずれの分野もコアテクノロジーを活かした「ポスト中期計画」の柱となる製品の研究開発に力を注いでいきます。従来からの顧客を大切に、大型受注を狙いつつ、新しい取り組みによる自社製品の展開も常に念頭に置いています。

このように積極的な研究開発を行う上で軸となってくるのは、2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の達成です。化学メーカーである当社の事業は、もとよりSDGsに深く関わるものばかりですから、事業を通じて社会、ひいては地球全体に貢献したいと考えています。

株主の皆様へ向けて
メッセージをお願いします。

当社ではこれまで安定売上、安定業績を継続してまいりましたが、中期計画における決意表明のとおり、創立70周

年を契機に成長軌道へと舵を切りました。高収益企業となることを目標に据えて計画を着実に実行に移し、成果を上げつつある状況ですので、当社グループの今後により一層のご期待をいただきましたら幸いです。当期の期末配当金につきましては、株主の皆様への利益還元を目的として1株当たり2.5円増配することを決定いたしました。来期以降も通期10円配当の維持や自己株式取得等、株主の皆様に対する還元を総合的に判断していく所存です。株主の皆様には、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症にはくれぐれもご留意いただきご自愛くださいませ。株主の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

配当関連情報

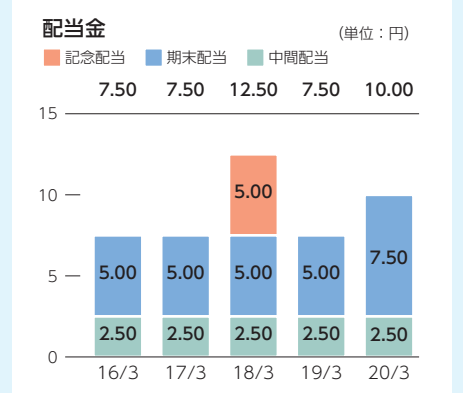
当社の株主還元方針

当社は、長期的観点からの事業収益の拡大と株主資本利益率の向上を通じて、長期的な企業価値の向上を図ることが最も重要な経営課題と認識しております。

配当につきましては、株主の皆様への利益還元を重要な資本政策の一つと位置付け、従来より長期的・安定的な配当水準の維持に努めることを基本方針としており、財務状況並びに中期計画の達成度合いを総合的に勘案し、利益配当額を決定しております。

第75期の配当金

第75期の期末配当金につきましては、2019年に公表いたしました中期計画の達成度合いを勘案し、当初予定から2.5円増配することを決定し、1株当たり7.5円とすることに決定いたしました。これにより、第75期の年間配当金は、中間配当金を加え、10円となりました。



(注) 2018年3月期期末配当金には、創立70周年記念配当5円を含んでおります。

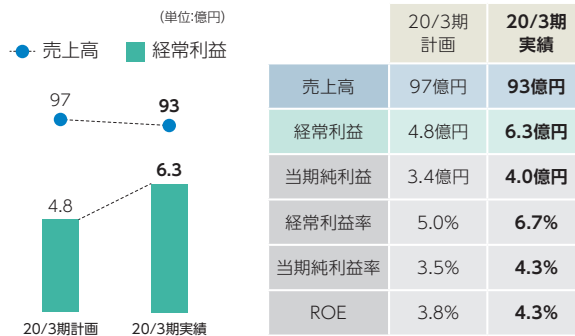
マナックは2018年に、創立70周年という節目の年を迎えました。70年にわたり事業を継続できたことに誇りを抱く一方で、リーマン・ショック以降は業績が低位安定している状態でした。そこで、成長軌道に戻すためには、経営陣・社員一人ひとりの意識と行動を、成長に向け「変える」ことが不可欠であり、その覚悟を社内外に示すことが必要と判断し、中期計画を社外発表いたしました。その中期計画1年目の進捗のご報告をさせていただきます。

中期計画 1年目の総括

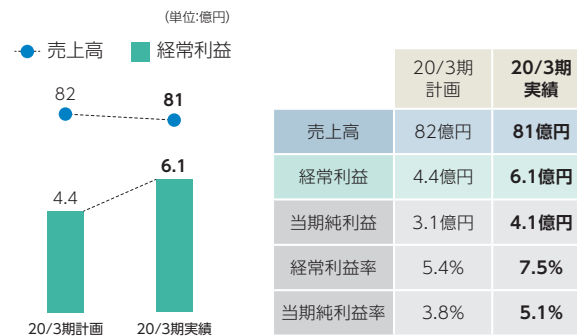
- 中期計画1年目の20/3期は連結売上高93億円、経常利益6.3億円となりました。
- 売上高は計画の97億円を少し下回りましたが、経常利益は計画の4.8億円を大きく上回りました。
- 要因としては、中国における環境規制強化による日本国内生産品への需要面での追い風と、19/3期に行った難燃剤関連の設備投資による生産効率化があげられます。
- 現時点では当初公表した中期計画をやや上回る水準で業績推移していると考えており、来期以降の計画数値にも変更はございません。
- 中期計画1年目の達成度合いを勘案し、20/3期の期末配当金を当初予定から2.5円増配し、通期で1株当たり10円といたしました。

数値目標の進捗

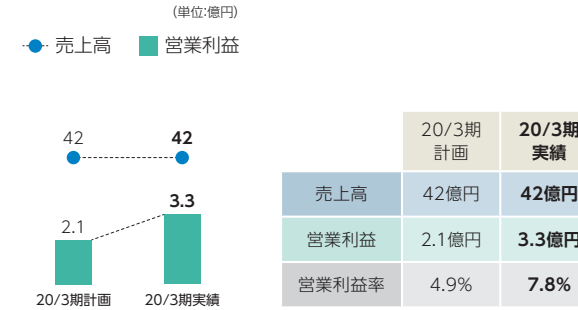
連結



単体



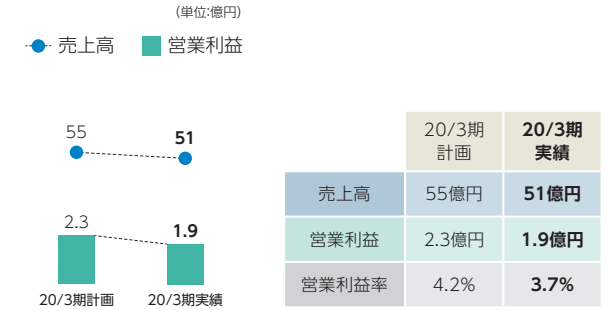
マテリアル・ソリューション事業



point

- プラスチック用難燃剤及び無機系臭化物などの需要増
- 19/3期に実施した設備増強及び生産効率化が大きく寄与

ケミカル・ソリューション事業



point

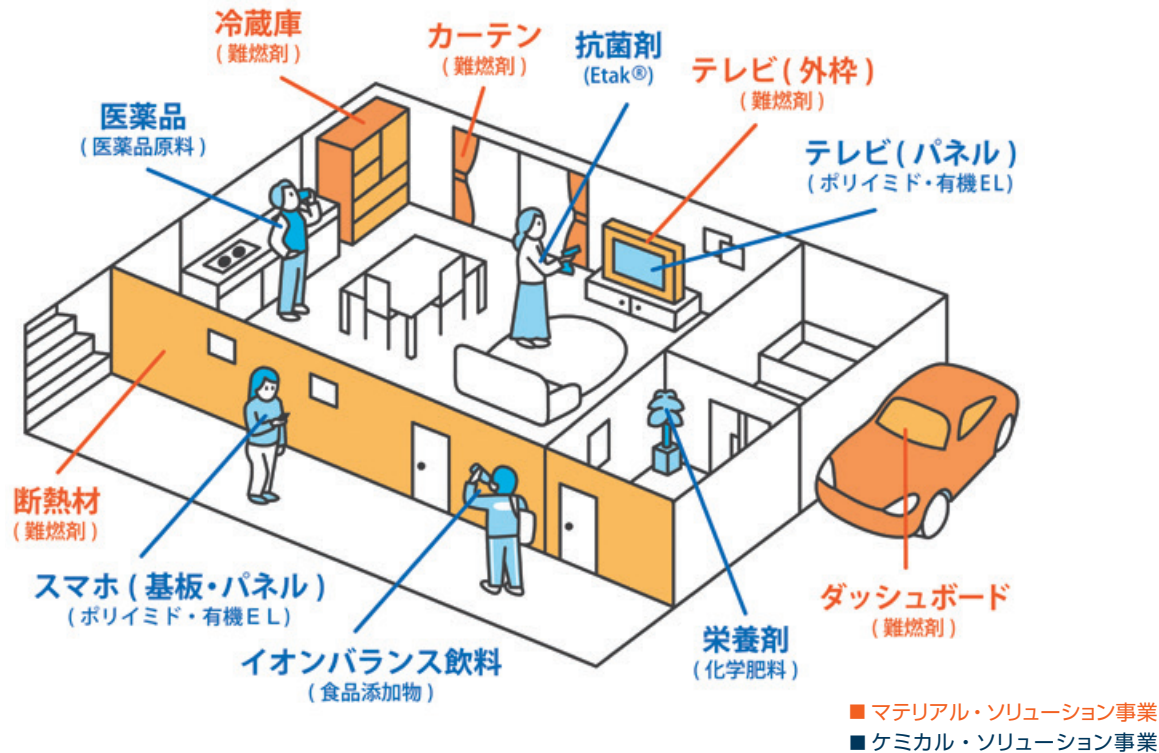
- 原料調達元を中国品から国内品へ切り替える企業増 ⇒ 当社の電子材料製品や工業薬品の需要好調
- 人工透析用原料は安定した国内需要を維持

中期計画2年目に向けた取り組み

- 1 医薬品関連製品の生産能力増強のための設備投資
- 2 新規難燃剤、難燃材料の開発
- 3 抗菌剤の増産体制構築
- 4 ICT/IoTを活用した柔軟な働き方の実現や取り組み

今までのマナックにはなかった
新しいマナックへの“変革”を推進してまいります。

マナックは、身近なものに欠かせない
中間原料(中間体)を提供しています。



※Etak®は、株式会社キャンパスメディコの登録商標です。

マナックの製品は原料でも最終製品でもなく、その間の中間原料(中間体)として使用されており、生活の身近なモノの中で大切な役割を果たしています。モノを燃えにくくするという特性のある難燃剤は、家電製品や断熱材の入った壁、自動車のダッシュボードなどに使用されています。

また、医薬品の原料や抗菌剤、スマートフォンの電子材料など最先端分野の製品にもマナックが作った中間体が使われています。今後も環境に配慮した製品や生活により役立つ製品の開発を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)の達成及び国際社会への貢献をしてまいります。

今後さらに力を入れていく(成長を見込む)分野



医薬品原料・治験薬中間体

がん関連の医薬品原料と婦人科領域の治験薬中間体の生産増強のために大型投資を実施していきます。22/3期には投資効果が得られ、利益に大きく貢献すると見込んでいます。



新規難燃材料開発

難燃剤という添加剤だけでなく、材料の分野に踏み込んだ“難燃材料”の研究開発に注力していきます。今後はバイオマス原料を使用する製品開発に取り組むなど、難燃機能に限らず、新しい機能を持たせた材料開発を目指していきます。



5G関連製品(ポリイミド樹脂原料)

5Gの本格始動により、スマートフォン、パソコンを始めとした先端機器の需要は今後も堅調に推移すると見込んでいます。電子回路材料の絶縁基材などに用いられるポリイミド樹脂は同様に需要が伸びていくと見込んでいます。



抗菌剤(Etak®)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、殺菌・抗菌への関心が高まっています。高まる需要に応えられるように増産体制を整えていきます。





「Etak®」は、当社と広島大学大学院医歯薬保健学研究院 二川浩樹教授で共同開発し製品化したエトキシシラン系の抗菌・除菌成分です。乾燥後も抗菌・抗ウイルス効果が1週間程度持続する特徴があり、特定の菌やウイルスに対する飛沫感染や接触感染による感染拡大のリスクを下げるのが期待できます。



自社製品「Etak®セーフティコート®」の紹介

当社では、Etak®成分を配合した業務用除菌・抗菌コーティング剤「Etak®セーフティコート®」を製造・販売しています。

効果、特徴 噴きかけた直後はアルコールの効果で除菌。アルコールが乾いた後にEtak®が噴きかけたモノの表面に固定化しコーティングするため、後から菌やウイルスが来ても1週間抗菌効果を持続します。

- 身の回りのいろいろな菌に効く
- 抗菌効果が1週間持続
- 衣類なら50回洗濯しても効果が持続

使い方 ドアの取っ手、手すり、机、イスなどに塗布して使用します。マスクに用いると容易に抗菌加工ができ、飛沫感染や接触感染による感染拡大のリスクを下げるのが期待できます。



※「Etak®セーフティコート®」は業務用除菌・抗菌コーティング剤のため、一般消費者向けの販売は実施しておりません。
 ※「セーフティコート®」は、マナック株式会社の登録商標です。

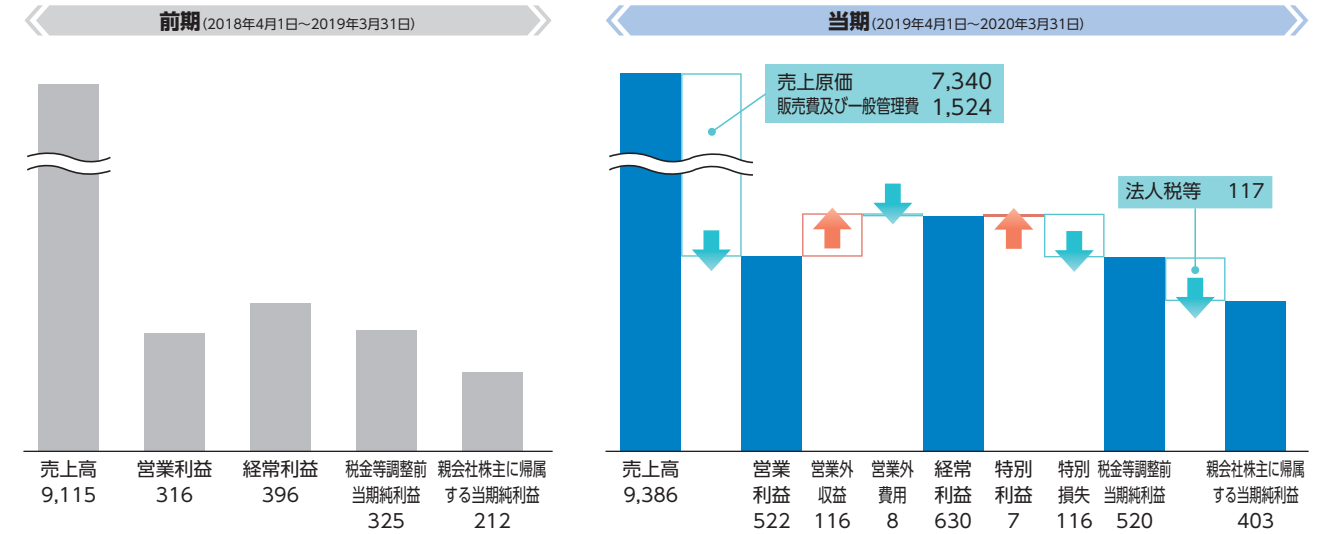
マナックの社会貢献活動

新型コロナウイルスの影響で、マスクや消毒液の不足が続いています。

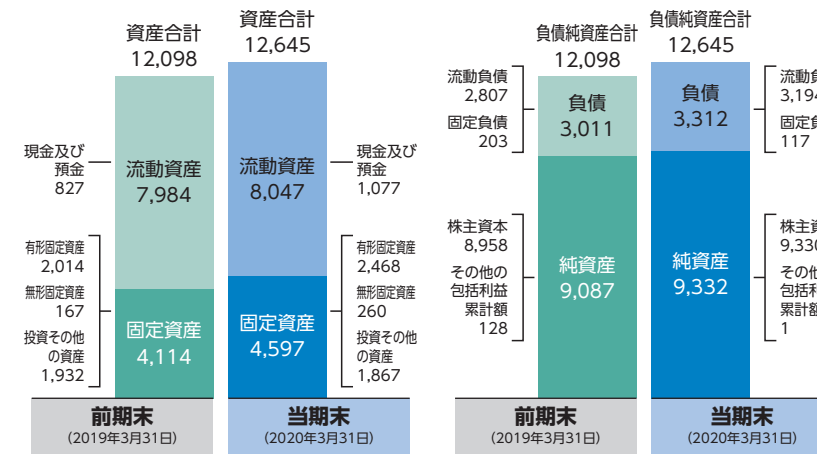
このような中、感染拡大防止に役立てていただくため、当社は地元である広島県福山市に「Etak®セーフティコート®」400Lを寄贈いたしました。福山市内の小中学校に配られ、子どもたちが安心して学校に通える環境を整えるために活用される予定です。この他にも、医療及び教育現場への支援として、広島市立病院機構や広島大学にも「Etak®セーフティコート®」を合わせて480L寄贈いたしました。今後も高まる需要に応えられるように増産体制を整え、地域社会へ貢献してまいります。



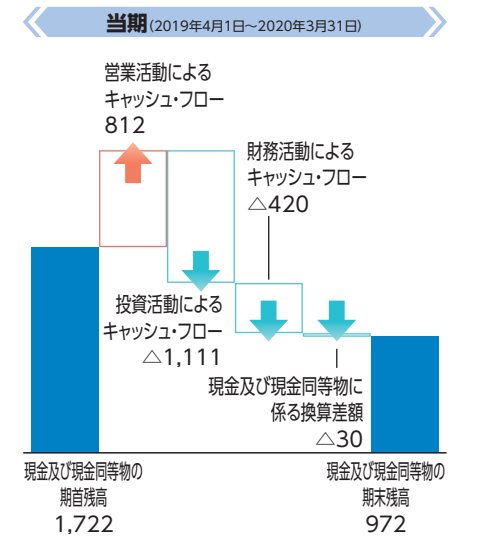
連結損益計算書 (単位:百万円)



連結貸借対照表 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



株式の状況

(2020年3月31日現在)

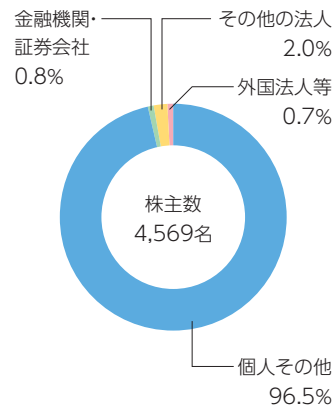
発行可能株式総数	23,200,000株
発行済株式総数	8,625,000株
株主数	4,569名

大株主(上位10名)

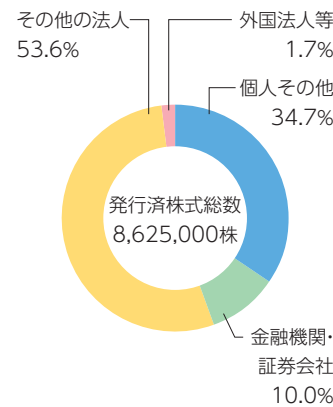
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
一般財団法人松永財団	1,654	20.4
東ソー株式会社	1,608	19.9
株式会社広島銀行	322	4.0
杉之原 祥二	257	3.2
株式会社合同資源	200	2.5
マナック社員持株会	162	2.0
光和物産株式会社	121	1.5
中尾薬品株式会社	101	1.3
東洋証券株式会社	100	1.2
日本生命保険相互会社	88	1.1

(注) 1. 上記のほか、当社保有の自己株式が533千株あります。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主数別分布状況



株式数別分布状況



会社概要

(2020年3月31日現在)

社名	マナック株式会社 MANAC INCORPORATED
本社所在地	〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目8番4号 日本橋さくら通りビル6階
設立	1948年5月
資本金	17億5,750万円
従業員数	186名(グループ従業員数 225名)
事業内容	難燃剤、医薬品、高機能性材料、電子材料、 食品添加物など様々な分野の先端技術産 業に原材料を供給

役員

(2020年6月23日現在)

代表取締役会長	杉之原 祥二
代表取締役社長	村田 耕也
代表取締役専務	小林 和正
常務取締役	千種 琢也
取締役	大村 元宏
取締役	亀崎 尊彦
取締役(監査等委員)	杉之原 誠
取締役(監査等委員)	内海 康仁
取締役(監査等委員)	本田 祐二
取締役(監査等委員)	豊田 基嗣

(注) 取締役 亀崎尊彦氏、内海康仁氏、本田祐二氏及び豊田基嗣氏は、社外取締役であります。

主な事業所

本社 〒103-0027
東京都中央区日本橋3丁目8番4号
日本橋さくら通りビル6階
TEL: 03-3242-2561
FAX: 03-3242-2564

大阪営業所 〒550-0003
大阪府大阪市西区京町堀1丁目6番2号
肥後橋ルーセントビル9階
TEL: 06-7176-8573
FAX: 06-7176-8574

福山工場・
研究所 〒721-0956
広島県福山市箕沖町92番地
※(登記上本店) TEL: 084-954-3330
FAX: 084-953-8523
FAX: 084-957-4370



郷分事業所 〒720-0093
広島県福山市郷分町
950番地の1
TEL: 084-951-2501
FAX: 084-951-2502



子会社

社名 マナック(上海)貿易有限公司
本店 中国上海市長寧区仙霞路317号
遠東国際広場B棟1406室
事業内容 中国国内における化学品の輸出入業務

社名 八幸通商株式会社



本社 〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番6号
晴花ビル3階

事業内容 化学薬品の製造、販売

社名 エムシーサービス株式会社

本社 〒721-0956
広島県福山市箕沖町92番地

事業内容 倉庫賃貸

関連会社

社名 ヨード・ファインケム株式会社

本社 〒104-0031
東京都中央区京橋2丁目12番6号
東信商事ビル7階

事業内容 ヨード化合物の製造、販売